

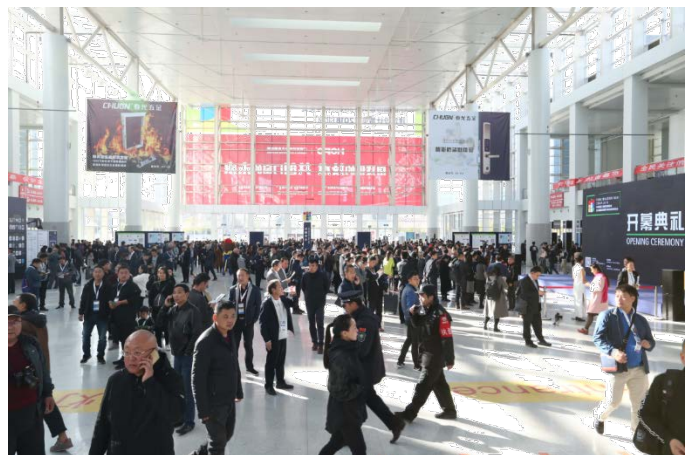
FENESTRATION BAU China 2018 ファイナルレポート

国際窓・ドア・天窓・カーテンウォール・技術・資材・プレハブユニット・建材見本市
2018年10月31日(水)～11月3日(土)
中国・中国新国際展覽センター(北京)

2018年11月5日

FENESTRATION BAU China アジアにおける建築産業向け主要見本市としての立場を強める

- 出展社数、来場者数、展示面積のいずれも増加
- 最初の試みで、展示ホールの半分を新セグメントが占める
- 建築における話題のトピック: 持続可能性、グリーン・ビルディング、エネルギー効率



Facts & Dat

会 期	2018年10月31日(水)～11月3日(土) 9時～17時(最終日16時まで)
会 場	中国・中国新国際展覽センター(北京)
主 催	MMU BAU FENESTRATION Co., Ltd.
規 模	51,034 m ² (2017年:48,500 m ²)
出 展 社 数	20カ国から656社(2017年:20カ国から625社)
来 場 者 数	68カ国から100,000人(2017年:76カ国から95,000人)
主 な 出 展 品	アルミドア、アルミサッシ、樹脂ドア、樹脂サッシ、樹脂窓枠材、木製ドア、木製窓、スチールドア、鋼製扉、鋼製窓、化学建材、シーリング材、アルミ外装材、ガラス外装材、アルミ窓枠材、石外装材、窓、ドア、外装材付属品、断熱材、アルミ、木製、複合窓枠材、アルミ窓枠材製造機械、窓、ドアと外壁システム、樹脂窓枠材製造機械、ガラス製造機械、無垢材、アルミクラッド木製ドアとサッシ、アルミ複合ドアとサッシ、加工機械と備品、機械付属品、建築用ガラス、ソフトウェア、日よけ、換気装置、ビル用ファサードと建設、ファサードと外壁、ドア、ゲート、窓、ガラス取り付け工事、屋根、フローリング、プレハブ式ユニット、天井、床材、断熱材・構造材、防火、暖房技術を含む建築技術、エレベータとエスカレータ技術、ビルディングオートメーション、制御と規制技術、HVAC(空調産業)技術、駐車システム、照明とイルミネーション技術、エネルギーコンサルティング、ITサービスなど
来 場 対 象 者	窓、ファサード製造業者、販売店、代理店、建築家・技師、インテリア・構造・景観設計士、エネルギーコンサルタント、関係当局、建築業全般、各専門業者・職人、デベロッパ、不動産・ファシリティ・ファンドマネジャー、建材専門店、DIYストア、業界団体、大学、研究機関ほか
専 用 U R L	http://www.bauchina.com (英語/中国語)

変わりつつあるアジアの建築産業：高品質の製品や材料の需要が激増している。このことは建築システムソリューション、高性能の技術および材料の主要見本市である FENESTRATION BAU China (FBC)でも顕著に表れている。出展企業の展示および幅広い併催プログラムの助けを借り、見本市ではごく近い将来の産業を形作る話題にスポットが当てられた。その中で、アジア太平洋地域における建設産業向けの主要見本市としての立場を明確に示した。



「FENESTRATION BAU China は、アジアにおける建築市場の力強い発展を反映している。国内外から 656 の企業が出展した。展示スペースは 51,034 平米に拡大し、5%の増加となった」と、メッセ・ミュンヘン副 CEO の Dr. ラインハルト・ファイファーは述べた。北京の中国新国際展覽センター(NCIEC)で開催された FBC は約 10 万人を記録し、6%の増加となった。これにはドイツ、インド、インドネシア、韓国、オーストリア、ベトナムなどからの、多くの政府代表者および代表団が含まれていた。これは「アジアの建設産業が発展

を続け、将来に向けて強化され、国際化する」という強力なサインであった、とファイファーが話した。

ドイツ連邦内務省、副大臣の Gunther Adler 氏は、次のように感想を述べた。「FENESTRATION BAU China は、アジア市場向けの展示と製品イノベーションを提供すると共に、専門的な議論を促進することによって、アジアの建築産業に大きな貢献をしている。その過程において、資源不足やエネルギー効率など、産業が直面する課題に対応して取られた対策の促進に、大いに役立っている」

スマート、持続可能、良いエネルギー効率：業界で議論となっている建設の主な課題

プレハブ材料&グリーン・ビルディング フォーラム、Future Building ホールのスマート建築ショールームおよび BAU Congress China において、将来の建築が、持続可能性、エネルギー効率およびスマートソリューションに関連する課題をどのように解決できるのかについて、精力的に議論が行われた。FENESTRATION BAU China (MMU)の理事長 Cathy Peng は次のように強調した。「我々は見本市として、これらのようなトピックに関する意見を共有し、互いに学び合い、共にソリューションの開発を行う理想的なプラットフォームを提供している」。新たな展示エリアである、グリーン・ビルディング & エネルギー効率、スマートソリューション / デジタル化 / BIM およびファサード & ルーフィングを、Future Buildings ホールに統合することで、FBC はアジアの建築分野における現在の動向に対応した。最初のスペース提供時に、ホール半分に相当する 4,500 平米の展示スペースが、新しいセグメントにより埋め尽くされた。それはコンセプトの実行可能性をはっきりと示すものだ。その結果、FBC はアジアの推進力としての地位を確立している。

FBC 初の中国建設・設計エキスポ

9月にメッセ・ミュンヘンと MMU BAU Fenestration Co. Ltd.は、中国建築学会(ASC)と協力協定を締結した。この協力の範囲において、中国建築・設計エキスポ(CADE)が初めて FBC において開催された。テーマである「継承、統合そして再生」は、中国建設産業の転機を理解する上での大きな手掛かりとなり、現在とのつながりを作った。そこでは、多数の建設材料と技術について、進歩的な設計コンセプトとアプリケーションの動向が紹介されている。ASC の事務局長である Zhong Jishou 氏は、



初開催での成果と協力関係に喜び、次のようにコメントした。「展示会と将来の共同作業により、新しい活気に満ちた勢いを引き起こすことができると確信している。我々は中国の建設産業を強化し、将来を見据え、有利な立場に置くことを共通の目標としている」

BAU Congress China で未来をしっかりと見つめる

「中国における建築の未来」を BAU Congress China の主要トピックとして、19 名の講演者が行ったプレゼンテーションは見本市での議論を反映したものであった。私たちの都市はどのように「スマート」になるか？ 建築技術のどのような開発が、エネルギーおよび資源不足という課題の対応に役立つか？ BAU Congress China において、建築家やプランナーは、これらの問いやそのほかのテーマに対する解決策を発表した。中国語によるものだけでなく国際的アプローチを紹介するコンセプトは、参加者に特別な付加価値を提供した。それは、この会議が、全国の建築家やプランナーの国際間対話を促進するインターフェースとしての役割を果たしているということだ。



数字で見る FENESTRATION BAU CHINA 2018

FENESTRATION BAU China の来場者は、68 カ国からの約 10 万人を記録し(2017 年:9 万 5 千人 / 62 カ国)、2017 年の初開催から 6%増加した。中国を除いて来場者が多かった国は、韓国、インド、ベトナムである。

出展企業は 20 カ国から 656 社であった(2017 年:625 社)。中国を除いて出展が多かった国は、ドイツ、イタリア、アメリカである。

次回の FENESTRATION BAU China は、上海で 2019 年 11 月 5 日～8 日に開催される予定だ。詳細情報ならびに写真は、<http://www.bauchina.com> まで

資料請求、出展申込み、各種お問い合わせ先：

メッセ・ミュンヘン日本代表部

株式会社メッセ・ミュンヘン・ジャパン

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-20-3 ノアーズアーク虎ノ門 5 階

Tel.: 03-6402-4583 Fax: 03-6402-4584 e-mail: info@messe-muenchen.jp

URL: www.messe-muenchen.jp (日本語) www.messe-muenchen.de (英語 / ドイツ語)